

# 九州・アジア/中国ビジネス研究会

## 第99回研究会開催案内

**日時：平成27年4月23日(木) 18:30 — 20:30**

**場所：エルガーラ・オフィス棟 6階601-2号室 久留米大学福岡サテライト教室**

福岡・中央区天神1-4-2 大丸エルガーラ東館 TEL：092-737-3111

(エルガーラ・オフィス棟は天神・大丸エルガーラ東館と国体道路沿いで隣接するビルです)

**講師：(株)エネジーラボラトリ代表取締役 釘宮淳行(くぎみや あつゆき) 氏**

**略歴：**大分市出身。1983年 AFS 生として米国ヴァージニア州カレッジイト高校留学、1989年慶応義塾大学文学部人間関係学科卒業、大和証券入社福岡支店に配属。1994年くぎみや企画創業、1997年株式会社ココシス <http://www.cocosys.co.jp/> 取締役就任、大手地場通販会社コンサルティングを経て、2002年東証マザーズ上場企業サイトデザインを M&A、株式会社 SD ホールディングに上場移転し取締役に就任。2013年さくらフォレスト株式会社・新日本水素株式会社等を系列化、ココシスグループの経営に携わる。2014年株式会社エネジーラボラトリを設立、代表取締役に就任、現在に至る。ibb プロジェクト [http://www.ibb-fukuoka.com/ibb\\_fukuoka/](http://www.ibb-fukuoka.com/ibb_fukuoka/) 開始当初から企画・運営に携わる。2000年より ibb 社長塾・BizCamp ファシリテーターとして福岡のインキュベーション・IPO を支援。現在、アジアを中心とした海外・エネルギー関連事業の展開にウエイトを置き活動している。

**テーマ：日本近代のアジア主義の潮流と九州～幕末・維新以来の人物関連・**

### **福岡百年史大年表一頭山満の玄洋社を中心に**

**概要：**領土問題や歴史認識を巡って日中韓に緊張感が走って久しい。これが政府間の対立のみならず、民間レベルでも、国民感情の対立につながることはゆゆしきことである。しかし、冷静に明治以降の歴史の中で日本人の思考にある「アジア観」をたどることで、何か解決の糸口は見いだせないだろうか。例えば、一方で、明治維新の「尊王攘夷」とその後の征韓論、アジアへの覇権主義により、結果として韓国併合や日中戦争、太平洋戦争へ日本を導いていった流れがあるが、他方で、歴史の表面からは消えているが、韓国の革命家・金玉均を助け、中国の孫文の辛亥革命を側面支援し、「抵抗するアジア」への連帯し、結果挫折した民間の動きもある。両者は「アジア主義者」としてひとくくりでいいのだろうか。この九州からも明治・大正・昭和にかけて多くの志ある人達が「アジアの独立」支援に加担し、韓国、中国、ベトナム、インド、アフガニスタン等と連帯した。その中で、今回は、九州で最も大きな影響力を有した見られる玄洋社と頭山満を中心に、内田良平、宮崎滔天等の動きに焦点を合わせて、講師の作成された年表に基づきながら、幕末・維新以来 100 年、明治・大正・昭和の九州からのアジア主義の潮流についてお話を伺う。九州からの現在のアジアビジネスの姿を展望するうえで、参考となる情報と思われま。

**会費：**参加ご希望の方は以下に申込み、登録の上、当日会場入り口にて参加費 1000 円をお支払いください。

申込み先：(株)アジアソリューション・中山芳美 宛

電話：092-741-9338 E-mail：yoshimi@asol.ne.jp

**九州・アジア/中国ビジネス研究会**

**主催：一般社団法人九州・アジアビジネス連携協議会 共催：近畿大学産業理工学部・アジアビジネス研究会**